



床下浸水後の家屋への適切な対応

(床上浸水の場合の対応は市HPに掲載しております)

時間を決めて休憩と水分補給をして、体調に十分気をつけて作業してください

衛生対策の3つのステップ

1. 床下を確認する

2. 洗浄

汚泥やゴミがあった場合、除去した後洗浄を実施

3. 乾燥

床下の消毒は**原則不要**
(洗浄した後の乾燥がとにかく重要)

1. 床下を確認する

水や汚泥、ゴミが残っていないか確認し除去しましょう。

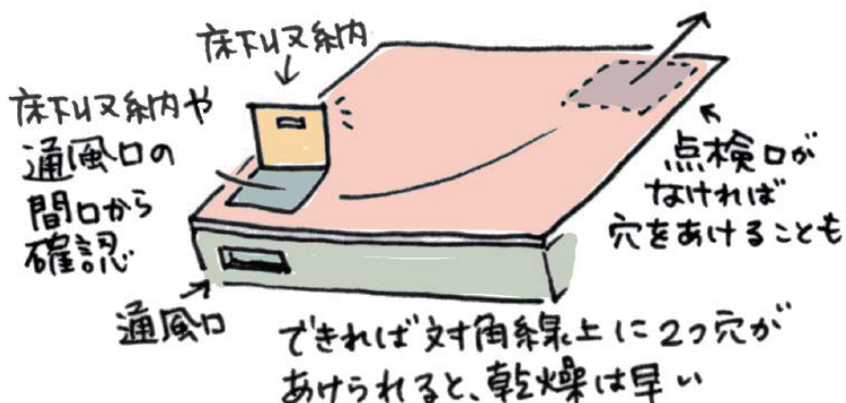
和室の場合

- ・畳の下にある板をはがす。
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・どの部屋の何番目なのか「印」をつけてから外す。



洋室の場合

- ・床下収納、点検口を開ける。
- ・床下に水や泥があれば除去。
- ・点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう。
(相場は3~4万円)



2. 洗浄

- ・泥やゴミが付着した部分は**必ず**洗浄しましょう。
- ・臭いやカビの原因となります。

- ・けがを防ぐために厚手のゴム手袋、ゴム長靴（あればゴーグルをつけて目も保護します）、ほこりを吸い込まないためにマスクを付けて清掃に当たります。
- ・高圧洗浄機を用いると効果的に洗浄できますが、その際は、マスクを着用し、換気に気をつけます。

道具用途一覧



3. 乾燥

床下の消毒は**原則不要**

(洗浄した後の乾燥がとにかく重要)

洗浄のあとは、**徹底的**な乾燥が必要になります



【乾燥のポイント】

- ★晴れた日は窓を開けて、外の空気を取り込みましょう。
 - ★床下の点検口などを開け、できるだけ外気を床下に送り込むようにしましょう。
 - ★灯油は燃焼時に水分を発生するので使用は控えましょう。
 - ★換気扇も活用しましょう。
- 湿った空気が留まらないように、空気を動かすことが大切です